

	東京医科歯科大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：101 第2年次：5） ※医学科を記載。 医歯学総合研究科（M：110 D：214） 難治疾患研究所
沿革・設置目的	<p>医学に関する教育・研究を行うことを目的に、我が国唯一の官立歯科医学教育機関として設置された官立東京高等歯科医学校から官立東京医学歯学専門学校、旧制東京医科歯科大学を経て、昭和26年（1951年）新制東京医科歯科大学医学部医学科として設置された。</p> <p>昭和26年（1951年） 新制東京医科歯科大学設置と同時に医学部医学科設置</p> <p>昭和30年（1955年） 大学院医学研究科設置（平成11年（1999年）に医歯学総合研究科に改組）</p> <p>昭和48年（1973年） 難治疾患研究所設置</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成22年（2010年） 難治疾患研究所が共同利用・共同研究拠点に認定</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京医科歯科大学の教育理念に基づき、知識と技術、教養と感性を兼ね備え、国際感覚と国際競争力に優れた医師・医学研究者等の養成を積極的に推進する。 ○ トップクラスの海外大学医学部での研究・臨床実習や海外拠点（チリ、ガーナ、タイ）との交流実績を活かし、国際水準を超える医学教育モデルの構築に取り組み、本学のみならず我が国の医学教育の向上に資する。 ○ 医学部と歯学部からなる国立大学で唯一の医療系総合大学の特色を活かし、医歯学融合教育を推進するとともに、生体材料・生体工学・難治性疾患の研究実績を活かした医歯工連携による教育・研究を実施し、高度な診療を提供する。 ○ 腫瘍学や消化器内科学、滑膜幹細胞による膝半月板再生等の再生医療、低侵襲医療やリウマチ、神経難病等の難治性疾患に関する研究や産学連携の取組を始めとする、基礎医学、臨床医学の各領域における研究等の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 特定機能病院、救命救急センター、第二種感染症指定医療機関等とし

て地域医療に貢献するとともに、特に次世代の救急医療を担う臨床医の育成を推進する。